愛知東邦大学　シラバス

開講年度(Year)	2020年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	【併用】専門演習Ⅱ		
担当者(Instructors)	伊藤 龍仁	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	必修

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

本演習は、日本のの子どもの福祉と社会的養育の現状・課題を理解し、専門職として子どもや家族を支援するための資質と人間性の向上および基礎的な実践力を育成することが目標である。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	ディスカッション及びディベート並びにグループワークを取り入れた演習活動を展開するとともに、児童福祉施設等におけるフィールドワークを実施する。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	夏休みの活動報告会 後期ゼミ活動の予定確認	各自の実施した夏休みの活動報告会をする。後期のゼミの活動予定を確認する。	□
第2回	個人・ゼミ単位の後期活動計画 フィールドワーク①（又は大学祭）企画検討	個人・ゼミ単位の後期活動計画と役割分担を明確化する。ディスカッションによりフィールドワーク①（又は大学祭）の企画を検討する。	□
第3回	フィールドワーク①（又は大学祭）企画決定 プログラム化・役割分担・事前学習	フィールドワーク①（又は大学祭）の企画を決定する。そしてプログラム化と役割分担、必要な事前学習に取り組む。	□
第4回	フィールドワーク①（又は大学祭） 準備作業①物資購入・練習等	フィールドワーク①（又は大学祭）の準備作業として必要な物資を調達し、企画練習に取り組む。	□
第5回	フィールドワーク①（又は大学祭） 準備作業②リハーサル・最終確認	フィールドワーク①（又は大学祭）の準備作業として、企画のリハーサルをして最終確認する。	□
第6回	フィールドワーク①（又は大学祭）実施	フィールドワーク①（又は大学祭）を実施する。	□
第7回	フィールドワーク①（又は大学祭）振り返り	ディスカッションによるフィールドワーク①（又は大学祭）の振り返りをした後に、教員が企画全体の講評を伝える。	□
第8回	フィールドワーク②企画検討・決定 プログラム化・役割分担・事前学習	ディスカッションによりフィールドワーク②の企画を検討して決定する。そしてプログラム化と役割分担、必要な事前学習に取り組む。	□
第9回	フィールドワーク② 準備作業①物資購入・練習等	フィールドワーク②の準備作業として必要な物資を調達し、企画練習に取り組む。	□
第10回	フィールドワーク② 準備作業②リハーサル・最終確認	フィールドワーク②の準備作業として、企画のリハーサルをして最終確認する。	□
第11回	フィールドワーク②実施	フィールドワーク②を実施する。	□
第12回	フィールドワーク②振り返り	ディスカッションによりフィールドワーク②の振り返りをした後に、教員が企画全体の講評を伝える。	□
第13回	フィールドワーク①②総括	ゼミ生全員で分担しながらフィールドワーク①②の総括としての報告書を作成する。	□
第14回	問題意識と課題の確認 ゼミ生交流企画	1年間のフィールドワークを総括した上での各自の問題意識と課題について発表し合う。 1年間のゼミ活動の打ち上げとしての交流会を企画する。	□
第15回	1年間の総括 まとめ、専門演習Ⅲに向けて	ゼミとして取り組んだ1年間のフィールドワーク等の総括と評価を行う。次年度の専門演習Ⅲに向けての課題と抱負をプレゼンテーションさせながら、各自の目標を確認させる。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

事前学習として与えられたテーマに基づくプレゼンテーションや課題の準備、実施するフィールドワークや学外演習に関連する語句、専門的知識等に関する下調べと、科目フォルダ内の課題に関する下調べを概ね2時間行い、事後学習として毎回のゼミ活動を振り返る800字程度のレポート作成を概ね2時間行い科目ファルダに提出する。事前・事後学習を合わせて4時間行う。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業時間内に口頭でフィードバックする他、報告書等のレポート課題に関するフィードバックは科目フォルダを活用する。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
	◇ 2018子ども発達DP1	小学校教員・幼稚園教諭・保育士になるための表現力、対人関係力、探求心、さらに取得を目指す資格や免許に必須の基礎的な資質能力を身につけられたか。
	◆ 2018子ども発達DP2	小学校・幼稚園・児童福祉施設における養護・教育・保育に携わることのできる幅広い人間力を体得できたか。
	◇ 2018子ども発達DP3	現代の教育・保育・児童福祉現場に存在する多様な問題や課題に正面から向き合うことのできる力強い実践力を習得できたか。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験（in-class exam)	その他(Other)
			20%	80%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

プレゼンテーション・提出物　30%
フィールドワーク　40%
自己開示とコミュニケーション　10%

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1		
2		
3		
4		
5		